

修学資金返還猶予申請書

年 月 日

東京都知事 殿

貸与番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

ふりがな  
氏 名  
郵便番号  
住 所  
電 話 ( )

下記により、修学資金の返還猶予を申請します。  
記

1 猶予申請の理由

- (1) 引き続き養成施設等に在学
- (2) 卒業(修了)後、他種の養成施設等に進学
- (3) 卒業(修了)後、指定施設等において看護業務に従事
- (4) 災害・疾病・その他 ( )
- (5) 二口以上の貸与を受けた。(1番目に返還する修学資金の貸与番号 ( )  
(2番目に返還する修学資金の貸与番号 ( )  
(3番目に返還する修学資金の貸与番号 ( )

(注) 1 (1)から(5)までのうち該当するものに○を付けてください。  
2 (5)に該当する場合は、貸与番号を記入してください。

2 修学資金貸与終了後の予定

本人記入欄		従事先又は在学先の証明(医療施設又は学校が証明)
猶予理由		上記の者は、年 月 日から当施設に 従事中(常勤・非常勤) <sup>※</sup> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※非常勤:月128時間以上</span> 在学中( ) であることを証明します。 年 月 日
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	
就業場所・ 学校名称等	施設名 郵便番号 住 所 施設長名 <span style="float: right;">印</span>	
猶予理由		上記の者は、年 月 日から当施設に 従事中(常勤・非常勤) 在学中( ) であることを証明します。 年 月 日
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	
就業場所・ 学校名称等	施設名 郵便番号 住 所 施設長名 <span style="float: right;">印</span>	

- (注) 1 猶予申請の理由が(1)から(3)までに該当する場合、医療施設又は学校の証明が必要となります。  
2 猶予申請の理由が(4)に該当する場合、申請理由の証明書を添付してください。  
3 第一種貸与を受けた方は、裏面の指定施設証明も記入してください(大学院修士課程を除く。)

3 免許取得状況

免許取得年月日・免許番号	年 月 日 第 号
--------------	-----------

- (注) 1 猶予申請の理由が(2)から(4)までに該当する場合、免許取得年月日及び免許番号を記入してください。  
2 「登録済証明書の写し」又は「免許証の写し」を添付してください(既に提出済の場合は、必要ありません。)

4 貸与金額・返還状況

借受期間及び金額等	年 月から 年 月まで	か月	総額	円
現在までに返還した額	年 月から 年 月まで	か月	総額	円

(裏)

指 定 施 設 証 明

- 1 医療法第7条の許可を受けた病床が200床未満の病院
- 2 医療法第7条の許可を受けた病床数のうち精神病床数が80パーセント以上を占める病院
- 3 ハンセン病療養所
- 4 医療法第1条の5第2項の診療所
- 5 児童福祉法第42条第2号に規定する医療型障害児入所施設
- 6 児童福祉法第6条の2の2第3項に規定する指定発達支援医療機関
- 7 地域保健法第21条第2項第1号に規定する特定町村(保健師の場合に限る。)
- 8 介護保険法第8条第28項に規定する介護老人保健施設
- 9 介護保険法第8条第29項に規定する介護医療院
- 10 介護保険法第41条第1項に規定する指定居宅サービス(同法第8条第4項に規定する訪問看護に限る。)の事業を行う事業所(1から6まで、8及び9に掲げる施設(都の区域内に存するものに限る。)における3年以上の看護業務の経験を有する者が従事する場合に限る。)
- 11 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法第11条第1号に規定する施設

当施設は、                    年    月    日現在、上記                    の施設であることを証明します。

年    月    日

施設名

施設長名



**第一種貸与者が看護業務従事のため、猶予を申請する場合**

修学資金返還猶予申請書

令和●年 4月 19日

東京都知事 殿

番号	4	K	*	*	*	*	*
ふりがな	とうきょう はなこ						
氏名	東京 花子						
郵便番号	〒 163-0000						
住所	東京都新宿区西新宿9-9-9						
電話	03 (5555) 5555						

卒業後、免許を取得し、直ちに指定施設で看護業務に従事した方は、この例の様に記入します。登録済証明書の写し(ハガキ)又は、免許証の写しもお忘れずに添付してください。裏面には、指定施設の証明をもらってください。

下記により、修学資金の返還猶予を申請します。  
記

1 猶予申請の理由

- (1) 引き続き養成施設等に在学
  - (2) 卒業(修了)後、他種の養成施設等に進学
  - (3) 卒業(修了)後、指定施設等において看護業務に従事**
  - (4) 災害・疾病・その他 ( )
  - (5) 二以上の貸与を受けた。(1番目に返還する修学資金の貸与番号  
(2番目に返還する修学資金の貸与番号  
(3番目に返還する修学資金の貸与番号
- (注) 1 (1)から(5)までのうち該当するものに○を付けてください。  
2 (5)に該当する場合は、貸与番号を記入してください。

実際に記入している日の日付を記入してください。

この欄に従事した医療施設での証明をもらってください。

2 修学資金貸与終了後の予定

本人記入欄		従事先又はは在学先の証明(医療施設又は学校が証明)	
猶予理由	3	上記の者は、令和●年 4月 1日から当施設に <b>従事中(常勤・非常勤)</b> ※非常勤:月128時間以上 在学中( ) 課程) であることを証明します。	
猶予申請期間	R●年4月から R●年3月まで	令和●年 4月 19日	
就業場所・学校名称等	○×病院	施設名 ○×病院 郵便番号 〒111-1111 住所 千代田区駿河台50 施設長名 ○×病院長 鈴木 一	○×病 院院長 之印
猶予理由		上記の者は、 年 月 日から当施設に	
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	従事中(常勤・非常勤) であることを証明します。 在学中( ) 課程) 年 月 日	
就業場所・学校名称等		施設名 郵便番号 住所 施設長名	

- (注) 1 猶予申請の理由が(1)から(3)までに該当する場合、医療施設又は学校の証明が必要となります。  
2 猶予申請の理由が(4)に該当する場合、申請理由の証明書を添付してください。  
3 第一種貸与を受けた方は、裏面の指定施設証明も記入してください(大学院修士課程を除く。)

3 免許取得状況

免許取得年月日・免許番号 令和●年 4月15日 第 111111 号

- (注) 1 猶予申請の理由が(2)から(4)までに該当する場合、免許取得年月日及び免許番号を記入してください。  
2 「登録済証明書の写し」又は「免許証の写し」を添付してください(既に提出済の場合は、必要ありません。)

4 貸与金額・返還状況

借受期間及び金額等	R●年4月からR●年 3月まで ●か月 総額○○○○円
現在までに返還した額	年 月から 年 月まで か月 総額 円

(裏)

指 定 施 設 証 明

- ① 医療法第7条の許可を受けた病床が200床未満の病院
- 2 医療法第7条の許可を受けた病床数のうち精神病床数が80パーセント以上を占める病院
- 3 ハンセン病療養所
- 4 医療法第1条の5第2項の診療所
- 5 児童福祉法第42条第2号に規定する医療型障害児入所施設
- 6 児童福祉法第6条の2の2第3項に規定する指定発達支援医療機関
- 7 地域保健法第21条第2項第1号に規定する特定町村(保健師の場合に限る。)
- 8 介護保険法第8条第28項に規定する介護老人保健施設
- 9 介護保険法第8条第29項に規定する介護医療院
- 10 介護保険法第41条第1項に規定する指定居宅サービス(同法第8条第4項に規定する訪問看護に限る。)の事業を行う事業所(1から6まで、8及び9に掲げる施設(都の区域内に存するものに限る。))における3年以上の看護業務の経験を有する者が従事する場合に限る。)
- 11 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法第11条第1号に規定する施設

当施設は、R●年 4月 1日現在、上記 1の施設であることを証明します。

令和●年 4月 19日

施設名 ○×病院  
施設長名 病院長 鈴木 一

○×病院  
院長之印  
印

修学資金返還猶予申請書

令和●年 4月 19日

東京都知事 殿

貸与番号 4 G \* \* \* \* \*

卒業後、免許を取得し、引き続き、保健師・助産師・看護師の養成施設等に進学した方は、このように記入します。  
免許証の写し又は登録済証明書（ハガキ）の写しを添付してください。

ふりがな とうきょう はなこ  
氏名 東京 花子  
郵便番号 〒 163-0000  
住所 東京都新宿区西新宿9-9-9  
電話 03 (5555) 5555

記

1 猶予申請の理由

- (1) 引き続き養成施設等に在学
- (2) 卒業(修了)後、他種の養成施設等に進学**
- (3) 卒業(修了)後、指定施設等において看護業務に
- (4) 災害・疾病・その他 ( )
- (5) 二以上の貸与を受けた。(1番目に返還する修学資金の貸与番号 ( )、(2番目に返還する修学資金の貸与番号 ( )、(3番目に返還する修学資金の貸与番号 ( ))

(注) 1 (1)から(5)までのうち該当するものに○を付けてください。  
2 (5)に該当する場合は、貸与番号を記入してください。

2 修学資金貸与終了後の予定

本人記入欄		従事先又は在学先の証明(医療施設又は学校が証明)
猶予理由	2	上記の者は、令和●年 4月 1日から当施設に 従事中(常勤・非常勤) <input type="checkbox"/> ※非常勤:月128時間以上 <b>在学中</b> ( 2年 課程) <input checked="" type="checkbox"/> であることを証明します。
猶予申請期間	R●年4月から R●年3月まで	令和●年 4月 19日
就業場所・学校名称等	××看護専門学校	施設名 <u>××看護専門学校</u> 郵便番号 <u>〒 123-9876</u> 住所 <u>東京都江戸川区江戸川9-9</u> 学校 施設長名 <u>××看護専門学校長 山川 太郎</u> 印
猶予理由		上記の者は、 年 月 日から当施設に
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	従事中(常勤・非常勤) であることを証明します。 在学中( 課程) 年 月 日
就業場所・学校名称等		施設名 _____ 郵便番号 _____ 住所 _____ 施設長名 _____ 印

(注) 1 猶予申請の理由が(1)から(3)までに該当する場合、医療施設又は学校の証明が必要となります。  
2 猶予申請の理由が(4)に該当する場合、申請理由の証明書を添付してください。  
3 第一種貸与を受けた方は、裏面の指定施設証明も記入してください(大学院修士課程を除く。)

3 免許取得状況

免許取得年月日・免許番号 令和●年 4月15日 第 111111 号

(注) 1 猶予申請の理由が(2)から(4)までに該当する場合、免許取得年月日及び免許番号を記入してください。  
2 「登録済証明書の写し」又は「免許証の写し」を添付してください(既に提出済の場合は、必要ありません。)

4 貸与金額・返還状況

借受期間及び金額等	R●年 4月から R●年 3月まで ●か月 総額 ○○○○円
現在までに返還した額	年 月から 年 月まで か月 総額 円

修学資金返還猶予申請書

令和●年 8月 1日

東京都知事 殿

番号	4	K	*	*	*	*	*
ふりがな	とうきょう はなこ						
氏名	東京 花子						
郵便番号	〒 163-0000						
住所	東京都新宿区西新宿9-9-9						
電話	03 (5555) 5555						

看護業務従事中に、やむを得ない理由(災害・病気・出産・育休・介護)で看護業務に従事できない場合はこのように記入し、従事のための返還猶予期間を延長します。  
 返還中にやむを得ない理由(災害・病気・出産・育休・介護)が生じ希望する場合は、申請により返還を猶予(一時的に返還を猶予)することができます。(診断書等を添付)  
 猶予期間の詳細は、しおりの 15 ページを参照してください。

記

住所や氏名、電話番号等に変更がある場合は、住所等変更届(第7号様式)も併せて提出してください。  
 電子申請も可能です。

- (1) 引き続き養成施設等に在学
  - (2) 卒業(修了)後、他種の養成施設等に進学
  - (3) 卒業(修了)後、指定施設等において看護業務に従事
  - (4) 災害・疾病・その他 ( )**
  - (5) 二以上の貸与を受けた。(1番目に返還する修学資金の貸与番号 ( ))  
 (2番目に返還する修学資金の貸与番号 ( ))  
 (3番目に返還する修学資金の貸与番号 ( ))
- (注) 1 (1)から(5)までのうち該当するものに○を付けてください。  
 2 (5)に該当する場合は、貸与番号を記入してください。

2 修学資金貸与終了後の予定

本人記入欄		従事先又は在学先の証明(医療施設又は学校が証明)
猶予理由	4	上記の者は、 年 月 日から当施設に
猶予申請期間	R●年8月から R●年11月まで	従事中(常勤・非常勤)※ ※非常勤:月128時間以上 在学中( 課程)であることを証明します。
就業場所・ 学校名称等		年 月 日 施設名 郵便番号 住所 施設長名
猶予理由		上記の
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	従事中(常勤・非常勤) であることを証明します。 在学中( 課程) 年 月 日
就業場所・ 学校名称等		施設名 郵便番号 住所 施設長名

この場合、この欄の証明は不要です。

- (注) 1 猶予申請の理由が(1)から(3)までに該当する場合、医療施設又は学校の証明が必要となります。  
 2 猶予申請の理由が(4)に該当する場合、申請理由の証明書を添付してください。  
 3 第一種貸与を受けた方は、裏面の指定施設証明も記入してください(大学院修士課程を除く。)

3 免許取得状況

免許取得年月日・免許番号	年 月 日 第 号
--------------	-----------

- (注) 1 猶予申請の理由が(2)から(4)までに該当する場合、免許取得年月日及び免許番号を記入してください。  
 2 「登録済証明書の写し」又は「免許証の写し」を添付してください(既に提出済の場合は、必要ありません。)

4 貸与金額・返還状況

借受期間及び金額等	R●年 4月からR●年 3月まで ●か月 総額 〇〇〇〇円
現在までに返還した額	年 月から 年 月まで か月 総額 円

修学資金返還猶予申請書

東京都知事 殿

2 口目の貸与番号を記入する

令和●年 1月 29日

貸与番号 1 S \* \* \* \* \*

ふりがな とうきょう はなこ  
 氏 名 東京 花子  
 郵便番号 〒 163-0000  
 住 所 東京都新宿区西新宿9-9-9  
 電 話 03 (5555) 5555

申請します。  
記

住所や氏名、電話番号等に変更がある場合は、住所等変更届(第7号様式)も併せて提出してください。電子申請も可能です。

複数口貸与を受けている方は、この申請により2口目以降の第二種貸与分の返還を一方の口の返還終了(予定)月の翌月から開始できます。1口ずつ返還することを希望される方は返還届と併せて在学中に学校の担当者に提出してください。

第一種貸与分も返還となった場合は1番目に返還する貸与番号に第一種の貸与番号を記入してください。

1 猶予申請の理由

- (1) 引き続き養成施設等に在学
- (2) 卒業(修了)後、他種の養成施設等に進学
- (3) 卒業(修了)後、指定施設等において看護業務に従事
- (4) 災害・疾病・その他( )

- (5) 二口以上の貸与を受けた。(1番目に返還する修学資金の貸与番号 1S9\*\*\*1)  
 (2番目に返還する修学資金の貸与番号 1S9\*\*\*2)  
 (3番目に返還する修学資金の貸与番号 )**

(注) 1 (1)から(5)までのうち該当するものに○を付けてください。  
 2 (5)に該当する場合は、貸与番号を記入してください。

2 修学資金貸与終了後の予定

本人記入欄		従事先又は在学先の証明(医療施設又は学校が証明)
猶予理由	5	上記の者は、 年 月 日から当該施設に
猶予申請期間	R●年4月から R●年3月まで	従事中(常勤・非常勤)※ ※非常勤:月128時間以上 在学中( 課程)であることを証明します。
就業場所・ 学校名称等		年 月 日 施設名 郵便番号 住 所 施設長
猶予理由		上記の者は、 年 月 日から当該施設に
猶予申請期間	年 月から 年 月まで	従事中(常勤・非常勤) であることを証明します。 在学中( 課程) 年 月 日
就業場所・ 学校名称等		施設名 郵便番号 住 所 施設長名

この場合、この欄の証明は不要です。

(注) 1 猶予申請の理由が(1)から(3)までに該当する場合、医療施設又は学校の証明が必要となります。  
 2 猶予申請の理由が(4)に該当する場合、申請理由の証明書を添付してください。  
 3 第一種貸与を受けた方は、裏面の指定施設証明も記入してください(大学院修士課程を除く。)

3 免許取得状況

免許取得年月日・免許番号 年 月 日 第 号

(注) 1 猶予申請の理由が(2)から(4)までに該当する場合、免許取得年月日及び免許番号を記入してください。  
 2 「登録済証明書の写し」又は「免許証の写し」を添付してください(既に提出済の場合は、必要ありません。)

4 貸与金額・返還状況

借受期間及び金額等	R●年 4月から R●年 3月まで ●か月 総額 〇〇〇〇円
現在までに返還した額	年 月から 年 月まで か月 総額 円